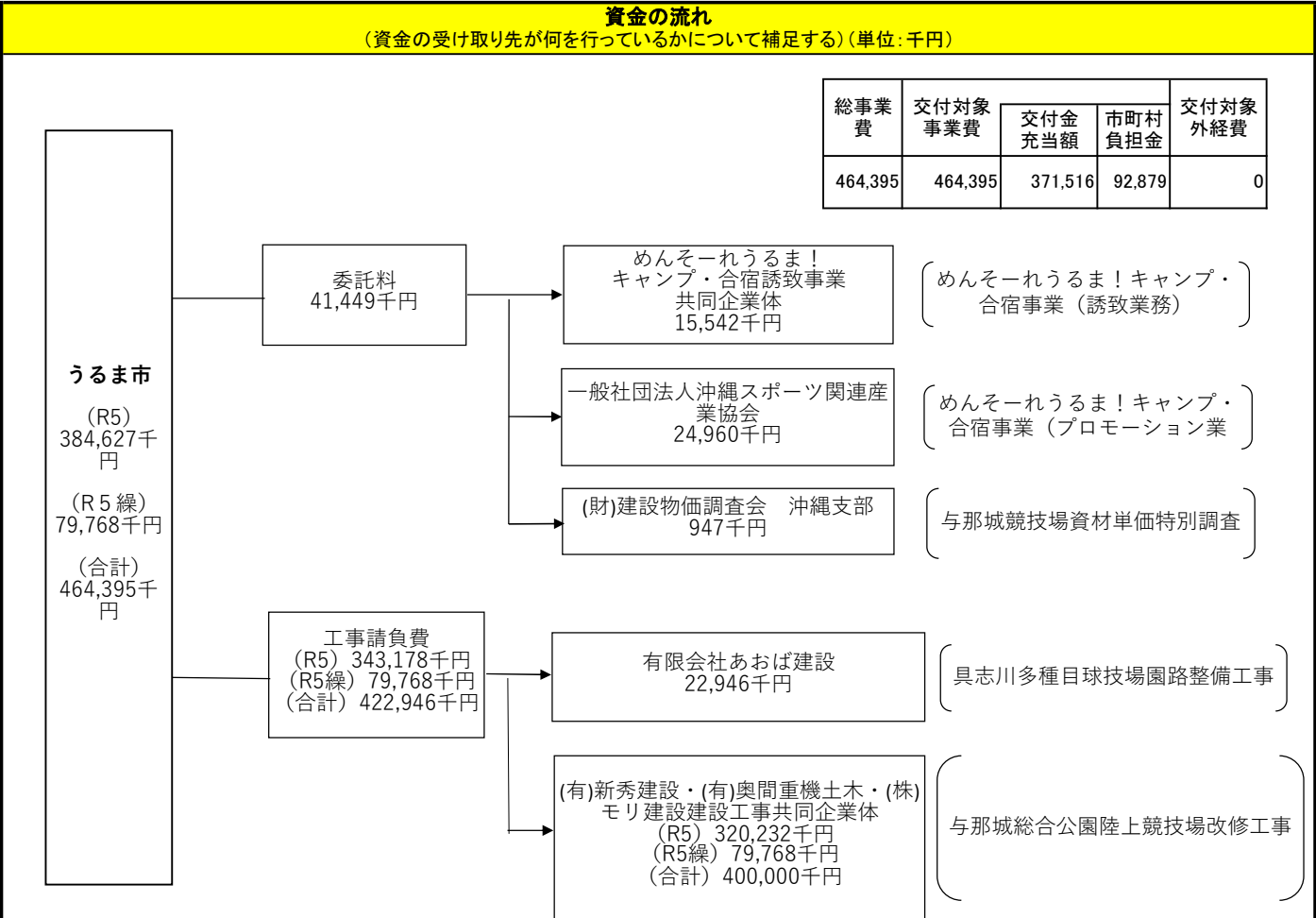


市町村名	うるま市						
令和5年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-③	めんそーれうるま！キャンプ・合宿事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-(9)-ア	
担当部課名	経済産業部 スポーツ課	事業実施(予定)年度	令和元年度～令和5年度		沖縄振興基本方針該当箇所	スポーツ関連産業の振興と地域の活性化	
事業内容	プロスポーツチームや実業団などのアマチュアスポーツ団体に対して、市が保有する施設等のプロモーションをし、合宿・大会等の誘致を図る。さらに、本市にてキャンプ・合宿を実施したチームを活用して本市のプロモーションを行うことで、キャンプ期間外の誘客を図ることで、通年を通して地域経済の活性化を図る。また、誘致力向上のため施設の整備等を実施し、キャンプ・合宿等の受入れ体制の強化を図る。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況		R3年度(繰越)	R4年度	R4年度(繰越)	R5年度	R5年度(繰越)
		(a)当初予算額		18,613		617,000	
		(b)予算現額		179,819		481,000	
		(c)増減額(b-a)	0	161,206	0	▲ 136,000	0
		(d)繰越額	147,538		109,663		79,768
	A. 計(b+d)	147,538	179,819	109,663	481,000	79,768	
		B. 執行済額	147,538	68,700	98,615	384,859	79,768
	うち交付金充当額	118,030	54,959	78,892	273,305		
	次年度繰越額		109,663		79,768		
	執行率(%) (B/A)	100.0%	38.2%	89.9%	80.0%	100.0%	
予算の状況の説明	与那城総合公園陸上競技場改修工事が令和5～6年度の工事となったことなどから、予算136,000千円を減額した。不用額については、委託の契約残や工事の入札残によるものである。繰越額79,768千円については、与那城総合公園陸上競技場改修工事の令和5年度執行分として支出。						
活動目標(指標)及び達成状況	活動目標(指標)		達成状況				
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	うるま市スポーツコンベンション推進協議会の開催・運営	目標	(2回)	(2回)	(2回)	(2回)	
		実績	2回	2回	2回	2回	
	新規誘致件数 (高校交流野球は除く)	目標				(1件)	
		実績				3件	
	受入環境整備(具志川多種目球技場)の完了	目標				(工事の完了)	
		実績				工事の完了	
	受入環境整備(与那城総合公園陸上競技場)の完了	目標				(工事完了)	
		実績				工事完了	
達成状況説明	・うるま市スポーツコンベンション推進協議会を2回開催した。 ・R5年度は、栃木SC(J2)など新規のチームを誘致できた。 ・具志川多種目球技場園路整備工事がR5.12月に完成した。(R4年度に「具志川多種目球技場外構工事設計業務」という名称で実施設計を実施) ・与那城総合公園陸上競技場の改修工事は令和5年度～令和6年度にまたがる工事である。令和5年度執行分については繰越しており、令和6年度執行分と合わせてR7.2月に完成した。						

成果目標 (指標) 及び進捗状況	成果目標(指標)			基準値 (年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値 (年度)
	キャンプ・合宿件数	目 標	()	(11件)	(10件)	(10件)	()	
		実 績		3件	15件	11件		
		目 標	()	()	()	()	()	
		実 績						
	進 捗 状 況 説 明	・阪神タイガース(ファーム)、韓国プロ球団3球団、サッカーチーム(J1・J2)2チームなど、目標数を上回る受入数であった。しかしながら、市内宿泊施設数の不足により、『全チームの市内宿泊』を達成できなかった。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・市内の宿泊施設が限られており、1～2月のプロ野球・サッカーのキャンプ時に、市内での宿泊ができないチームがあった。 ・事業を推進するにあたり、経済波及効果が宿泊施設に集中する傾向がある。 ・2026年よりJリーグが秋春制に移行するため、今後安定してキャンプを誘致できるか懸念される。	・体育施設の老朽化が引き続き課題となっており、キャンプ・合宿の受入件数増加に向けて、引き続き修繕・機能強化を実施する。 ・宿泊施設と連携を密にとり、情報収集を行う。
今後の取り組み方針		
・阪神タイガースのキャンプ受入に伴い、具志川野球場の機能強化を図っていく。 ・次年度のキャンプ・合宿に向け、経済波及効果を拡大するために『うるま市スポーツコンベンション推進協議会』を中心に、出店や交通関連等事業者・通り会等の地域の経済団体と連携を図っていく。 ・高校・大学や陸上競技等の合宿受け入れを積極的に行い、受入れ件数の増加に努める。		



資金の 使途の 流れ、 点検、 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は、これまでの取組みの継続性及び今後の事業展開を勘案のうえ地方自治法施行令第167条の2第1項第2号による随意契約をしており、妥当であるとする。 ○予算規模については、不用額が16,373千円となっており、予算額の5%未満となっているため、適正な規模であったと考えている。 ○費目・使途については、事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において検査、確認しており、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	うるま市										
令和5年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】											
事業番号・事業名	2-④		うるま市農水産業振興戦略拠点施設機能強化整備事業				新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所		第4章-3-(7)-ア		
担当部署名	農林水産部 生産振興課		事業実施 (予定)年度	令和4年度～令和6年 度		沖縄振興基本方針 該当箇所		おきなわブランドの確立と 生産供給体制の整備			
事業内容	秋季や冬季において寒風の影響を受け、屋外で飲食を提供しているフードコートの売上やイベント集客などに影響を及ぼしているため、防風設備を設置し、季節や天候に左右されない、一年を通じた集客環境を整備する。										
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)										
実施方法	□直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()										
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)			R4年度	R4年度(繰越)		R5年度		R5年度(繰越)		R6年度	
	予算 の 状 況	(a)当初予算額	34,000			10,000					
		(b)予算現額	34,000			10,000					
		(c)増減額(b-a)	0	0		0		0		0	
		(d)繰越額		34,000				8,115			
		A. 計(b+d)	34,000	34,000		10,000		8,115		0	
	B. 執行済額		0	33,517		0		8,115			
	うち交付金充当額		0	26,813		0		6,492			
	次年度繰越額		34,000					100.0%			
	執行率(%) (B/A)		0.0%	98.6%		0.0%		100.0%		0.0%	
予算の状況の説明		大型ビジョンLEDについては、受注生産(海外発注)となっており、コロナ情勢等の影響により、輸送・通関に通常時より時間を要し令和5年度に繰り越した。									
活動目標 (指標) 及び達成状況	活動目標(指標)			達成状況							
					R4年度(繰)	R5年度		R6年度		R7年度	
	イベント広場の機能強化(防風設備の設置)	目 標		大型ビジョンの設置	防風設備の設置						
		実 績		大型ビジョンの完了	防風設備の完了						
		目 標									
		実 績									
達成状況説明	イベント広場へ目標である、防風設備の設置を達成することができた。										
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R4成果目標(指標)				基準値 (年度)	R4年度(繰)		R5年度		R6年度	目標値 (年度)
	イベント広場の機能強化(防風設備の設置)	目 標	()	(設置)	(設置)		()		()		
		実 績		完了	完了						
	【後年度目標】 売上前年比25%以上の増加	目 標	()	()	()		(25%)		()		
		実 績					5%				
	進捗状況説明	防風設備を設置し、季節や天候に左右されることなく、年間を通して集客が見込める環境の整備が完了した。これにより地域住民や観光客が季節を問わず快適に利用できる条件が整った。しかし、繰越事業となったため、想定していたタイムラインよりも遅れが生じ売上目標の達成ができなかったが、今期は達成が見込まれる。									

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	施設の機能強化が図られ、第一次産業（農水産業）の持続・発展的な振興を実現することができた。一方で、整備直後の集客状況や売上データだけで判断するのではなく、事業効果は長期にわたり波及していくため、今後は、目標達成に向けたプロモーション施策も展開していく必要がある。	集客環境の整備できたことで、更なる来場者数の増に繋げる。また、集客の拡大を図るため、フードコートや農水産物直売所など連携したイベントやプロモーション活動を行い、施設を最大限活用し目標達成に向けて取り組んでいく。
今後の取り組み方針		
今後は、季節や天候に左右されない、一年を通したイベントやターゲット層に合わせたプロモーションを強化して更なる集客増を行う。一方で、駐車場不足の課題がまだ解消されてないので、関係機関及び指定管理者と調整を図りながら、次年度以降実施できるよう取り組んでいく。 整備の完了に伴い、季節や天候に左右されることなく年間を通しイベントの実施が可能となった。今後は、イベントやターゲット層に合わせたプロモーションを強化しさらなる集客増に取り組んでいく。しかし、一方では駐車スペースの確保が課題となっており、引き続き関係機関並びに指定管理者と調整を行い課題解決に向けても取り組んでいく。		

資金の流れ （資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）														
<table border="1"> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>9,879</td><td>8,115</td><td>6,492</td><td>1,623</td><td>1,764</td></tr> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	9,879	8,115	6,492	1,623	1,764
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
9,879	8,115	6,492	1,623	1,764										
うるま市 9,879千円 委託費 9,879千円 有限会社 桑江工業 9,879千円 うるマルシェイベント広場防風対策機能強化業務委託														
資金使途の流 れ、点検、 評価・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託の業者選定は公募選定により実施しており、妥当であったと考えている。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については不用額はなく、適正な規模であったと考えている。											
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途について事業目的達成の観点から必要なものなのか等については額の確定時において検査、確認しており、適正であった。											
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	うるま市							
令和5年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	11-②	うるま市総合食育センター整備事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-2-(3)-(ア)		
担当部署名	学校教育部 学校給食センター	事業実施(予定)年度	令和5~令和8年度		沖縄振興基本方針該当箇所	「健康・長寿おきなわ」の復活		
						Ⅲ-4-(3)		
事業内容	うるま市総合食育センターを整備することで、市民の健全な食生活を確立し、健康増進を図る。							
効果発現年度	☐ 当年度 ☒ 後年度(令和9年度)							
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()							
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			R5年度	R5年度(繰越)	R6年度	R7年度	R8年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	72,467					
		(b)予算現額	30,590					
		(c)増減額(b-a)	▲ 41,877	0	0	0	0	
		(d)繰越額	0	30,590				
		A.計(b+d)	30,590	30,590	0	0	0	
	B.執行済額		0	29,040				
	うち交付金充当額		0					
	次年度繰越額		30,590					
	執行率(%) (B/A)		0.0%	94.9%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
予算の状況の説明		施設の補助対象面積が縮小されたため当初予算額から41,877千円を減額した。 また用地取得にあたり、地権者との交渉に不測の日数を要し年度内の事業完了が困難となったため、30,590千円を令和6年度に繰り越し、事業用地の購入及び物件補償を実施した。						
活動目標(指標)及び達成状況	R5活動目標(指標)			達成状況				
				R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	
	事業用地の購入	目 標	事業用地の購入					
		実 績	事業用地の購入					
	事業用地内の物件補償	目 標	事業用地内の物件補償					
		実 績	事業用地内の物件補償					
達成状況説明	令和6年度に事業用地の購入、敷地内の物件補償を実施した。							
成果目標(指標)及び進捗状況	R5成果目標(指標)		基準値(年度)	R5年度	R6年度	R7年度	目標値(R9年度)	
	用地購入・物件補償の完了	目 標	()	(完了)	()	()	()	
		実 績		完了				
	バランスの良い食生活の認識が深まった割合(受講者アンケート)	目 標	()	()	()	()	(80%)	
		実 績						
	進捗状況説明	令和6年度に事業用地の購入、敷地内の物件補償を完了した。						

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	事業用地の取得及び物件補償に時間を要したことで、R6年度実施する基本設計の調査業務（測量・地質調査等）との調整が必要となる。	PFI事業契約者と早期に調整を行い、事業計画に沿った設計業務、敷地造成工事を実施する。
今後の取り組み方針		
令和6年度からは、食育センターの設計業務、敷地造成工事等（公有財産購入費）を実施する。		

